

事業所における自己評価総括表	
公表	

○事業所名	重心型デイサービスれもん			
○保護者評価実施期間	令和8年 6月 1日	～	令和8年 7月 31日	
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 4名	(回答者数) 4名		
○従業員評価実施期間	令和8年 7月1 日	～	令和8年 7月 31日	
○従業員評価有効回答数	(対象者数) 10名	(回答者数) 10名		
○事業向け自己評価表作成日	令和8年 8月 1日			

○分析結果

	事業所の強み(※) だと思われれること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	有識者・保育士等が連携して支援している。一人ひとりの体調や発達に合わせ活動が工夫されている。散歩、買い物体験、水遊びなど、様々な経験の機会を提供している。	一人ひとりの体調や発達段階に合わせて、活動内容や時間を調整している。	利用児の「やってみたい」「楽しい」という気持ちを大切に活動を増やす。
2	入浴支援など、家庭のニーズに応じた支援ができる。		
3	保護者との情報共有やコミュニケーションを大切にしている。	日々の体調や活動の様子を職員間で共有し、継続した支援につなげている。	家庭との情報共有をさらに丁寧に、保護者の希望を支援に反映する。
		看護士・保育士等職員が連携し、安全面に配慮している。	支援後の振り返りを行いより良い支援方法を検討する。

	事業所の強み(※) だと思われれること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	外出や地域交流などの機会を十分に確保できていない。		
2	利用児数や職員体制によって、活動内容に制限が生じることがある。	職員間の情報共有をさらに徹底する。	定期的にケース会議や支援のふりかえりを行う。
3	個々の利用児に合わせた活動の選択肢をさらに増やしたい。	外出や散歩、地域交流など、社会経験の機会を増やす。	散歩、外出、買い物、季節行事など経験の幅を広げる。
		緊急時や事故発生時の対応について職員間で共通理解を深める	保護者との連携、情報交換を大切に、家庭での様子など共有する。